

4) 3大学の学生間交流プログラムについて

目的:

他大学の高齢者に関する臨床実習の取り組みを知る。

超高齢社会に対応できる歯科医師になるためにこれからどのように取り組むべきかを考える。

対象: 各大学の5年生 3名

(赤字は修正案)

発表内容:

自校の高齢者に関する臨床実習(病院実習も含む)の取り組みを報告するものとしてください。具体的には、学内の臨床実習、訪問歯科診療、社会福祉施設での経験等で、高齢者が対象となったものです。実習時の写真に解説文を添えるような形式が考えられます。(←ハードルが高いのでは?)写真を撮る場合には、事前に指導の先生方に相談してください。すでに、実習を終えている場合は、説明用写真の提供について、担当の先生方に相談してください。内容を説明する写真ですので、必ずしもご自身が入っているものでなくても構いません。

実施方法:

①プロダクトの作製

各大学の高齢者に関わる臨床実習について、概要(実習の内容のみではなく、実習の目的や実習を行って得られたこと、実習の良い点、悪い点等々)をパワーポイントにまとめ、web上に掲載する。

共通のフォーマットを作成する(指導医が必ずチェックする)

②WEBによるプレゼンテーションと質疑応答

掲示板を利用し、他大学の発表についてコメント、質問をする。

学生全員、および歯科医師会の先生方にIDを振り分けるのか?

③Skypeによるディスカッション(教員は外から見る)

②を踏まえ、各大学の発表を行った学生に集まってもらい、Skypeを通じて超高齢社会に対応できる歯科医師になるために今後どのように取り組んでいくのがよいかをディスカッションする。

④まとめ

ディスカッションを踏まえ、超高齢社会に対応できる歯科医師になるために必要と思われることをパワーポイントにまとめweb上に掲載する。(関係者が閲覧する)

なお①、②、④の発表の掲示および掲示板はmoodleを利用する。

今年度のタイムスケジュール

2015年11月 学生の選出と説明会

2016年1月15日 臨床実習紹介プロダクトのアップロード スライドの枚数規定、制限は?

2016年1月16日～ WEB上での質疑応答

2016年2月10日 17:30-18:30 Skypeによるディスカッション

2016年3月15日 まとめプロダクトのアップロード

準備の進行状況

サーバーにmoodleを利用したプレゼンテーションコースを設置

各大学の学生への説明会を実施

現在プロダクトを作成製作中

次年度のタイムスケジュール

2016年4、5月 学生の選出と説明

2017年1月15日 手あげ式臨床実習紹介プロダクトのアップロード

2017年1月18日頃 WEB上での質疑応答

2017年2月12日頃 Skypeによるディスカッション

2017年3月14日頃 まとめプロダクトのアップロード

発表対象となる臨床実習**北海道医療大学**

- 大学病院・歯科クリニック
- 訪問診療
- 学外実習(開業歯科医院、病院歯科)
- 福祉施設での実習
- 海外短期臨床実習

岩手医科大学

- 病院実習、地域医療体験実習、介護体験実習(5年時)の中から。

昭和大学

- 高齢者歯科臨床実習
- チーム医療臨床実習(病院歯科実習+歯科訪問診療実習)
- 学部連携病棟実習

来年度の参加学生**北海道医療大学**

全員参加:グループごとに発表をとりまとめる

- リフレクションで発表会を行う
 - 全体をまとめたファイルを作成
 - 写真は教員が提供したもので行う
 - 作成した学生がスカイプ会議に参加
-
- 写真の個人情報管理の問題
 - プレゼンテーション準備にかかる時間と教育効果
 - チーム作業を行うことの教育効果

北海道医療大学

全員のなかから選抜。Skype討論会も全員参加。

昭和大学

来年度は、選抜された学生が発表する。
(カリキュラム移行の関係上)